

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催状況等

16年	7月28日	平成16年度第1回WG開催(東京)
	8月31日	平成16年度第2回WG開催(静岡県御殿場市)
	9月29日	平成16年度第3回WG開催(長野県上高地)
	10月21日	平成16年度第4回WG開催(栃木県日光市)
17年	2月 3日	平成16年度第5回WG開催(東京) ・実証試験結果報告(富山県、山のECHO) ・手数料項目の検討
	2月25日	平成16年度第6回WG開催(東京) ・実証試験結果報告(神奈川県) ・実証試験中間報告(長野県、静岡県、富山県) ・今後の方針についての検討

(WG検討員名簿は資料1-3-2参照)

(2) 実証機関における実証試験の進捗状況等

- ① 長野県
 - 実証対象技術：生物(好気性)・土壌処理方式
冬季閉山のため実証試験中断中。開山後再開予定。
- ② 静岡県
 - 実証対象技術：生物処理方式(かき殻を利用した浄化循環式トイレ)
冬季閉山のため実証試験中断中。開山後再開予定。
- ③ 神奈川県
 - 実証対象技術：土壌処理方式
実証試験完了。実証試験結果報告書作成中。
- ④ NPO 法人 山のECHO
 - 実証対象技術：物理化学処理方式
実証試験完了。実証試験結果報告書作成中。
- ⑤ 富山県
 - 実証対象技術：土壌処理方式
実証試験完了。実証試験結果報告書作成中。
 - 実証対象技術：コンポスト処理方式
冬季閉山のため実証試験中断中。開山後再開予定。

2. 今後の予定

- ・実証試験結果報告書の承認、公表。
- ・概要版パンフレットの作成、公表。
- ・実証試験の効率化に向けた小委員会を立ち上げ、検討を行う予定。

3. その他

神奈川県の実証試験結果について、装置の配管設備に漏水があり、処理水の水質が試験期間中安定せず、装置の性能を実証するに至っていない状況であった。山岳トイレ処理技術WGとしては、あと数か月間、実証試験継続の必要性があるとの判断に至った。

これにより、山岳トイレ技術分野としては、当初から継続を予定している長野県、静岡県及び富山県に加え、神奈川県についても継続を希望するものである。

※ 申請者側の不備であるため、本来、申請者負担により実証試験を行うところである。しかしながら、平成16年度の公募の際には、手数料を徴収することについて申請者の了承を得ているわけではないため、今回限りの特例措置として、国負担体制での継続を認めるもの。

平成 1 6 年度環境技術実証モデル事業検討会
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発(冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎 三井造船(株) 環境・プラント事業本部長付
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所主任研究員
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>
吉田 孝男 N P O 環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部主幹

(50音順、敬称略)